

第2次弥富市男女共同参画プランの目標達成への進捗状況報告《令和7年度》

指標	現状値 (プラン策定時)	現状値 (令和6年度実績)	目標値 令和12(2030)年度	目標値 令和12(2030)年度 【プラン中間見直し】	関係課	令和6年度の対応・取組実績	令和7年度 目標達成への対応・取組予定
男女共同参画に関する言葉「ジェンダー(社会的性別)」の認知度(市民意識調査)	48.8% ※1		60.0%	60.0%	市民協働課	啓発記事を作成し、男女共同参画ポスターコンクールに合わせて市役所1階市民プラザに掲示した。	男女共同参画ポスターコンクールに合わせ、啓発記事を作成し、弥富まちなか交流館2階市民ギャラリーにて掲示する。
社会全体における男女の平等感が「平等」の割合(市民意識調査)	15.9% ※1		50.0%	50.0%	市民協働課	国の男女共同参画週間や愛知県男女共同参画週間などの各種啓発期間に合わせ、広報誌に3回周知記事を掲載した。	国の男女共同参画週間や愛知県男女共同参画週間などに合わせ、広報誌に周知記事を掲載する。
学校生活の場における平等感(学校生活の場で男女の地位が「平等」と回答した中学生の割合)(中学生意識調査)	50.1% ※1		60.0%	60.0%	学校教育課	生徒会の役員選挙では、男女の人数の枠を設けずに実施しました。この取り組みにより、全ての生徒が平等に参加できる環境を整え、日々の特別活動や道徳教育を通じて男女平等の意識を高めることができた。	生徒会の役員選挙での男女比に関するルールを明文化し、全員が積極的に候補者として参加できるような啓発活動を行います。特別活動や道徳の時間を利用して、男女平等についての意識を高めるための学習を行う。
「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」について「そう思わない」と回答した中学生の割合(中学生意識調査)	37.9% ※1		50.0%	50.0%	学校教育課	多様な分野で活躍する女性を招き、経験までの道のり等について話を伺いました。多様な働き方の重要性や女性の社会進出がもたらす理解を深めるとともに、自分自身の将来について前向きに考えることができた。	様々な業界で活躍している女性を講師として招き、女性が直面する社会的な課題や多様な働き方に関する情報を提供し、具体的な視点を与える学習を行う。
性的少数者に関する言葉「LGBT」の認知度(市民意識調査)	67.2% ※1		80.0%	80.0%	市民協働課	啓発記事を作成し、男女共同参画ポスターコンクールに合わせて市役所1階市民プラザに掲示した。	男女共同参画ポスターコンクールに合わせ、啓発記事を作成し、弥富まちなか交流館2階市民ギャラリーにて掲示する。
審議会等における女性委員比率	23.6% ※2	37.29%	40%以上60%以下	40%以上60%以下	市民協働課	【令和6年4月1日現在】 審議会等における女性委員人数:132名 (総委員数:354名 女性比率:37.29%) 令和5年度より1.93%アップ	【令和7年4月1日現在】 審議会等における女性委員人数:141名 (総委員数:345名 女性比率:40.87%) 令和6年度より3.58%アップ 女性委員の登用について積極的に行う。
行政委員会における女性委員比率	14.3% ※2	20.59%	30.0%	30.0%	市民協働課	【令和6年4月1日現在】 行政委員会における女性委員人数:7名 (総委員数:34名 女性委員比率:20.59%) 令和5年度より3.45%アップ	【令和7年4月1日現在】 行政委員会における女性委員人数:7名 (総委員数:33名 女性委員比率:21.21%) 令和6年度より0.62%アップ 女性委員の登用について積極的に行う。
防災ワークショップに占める女性の割合	41.8% ※3	38.6%	45.0%	45.0%	防災課	全2回で137名の参加者があり、女性の参加者は53名であった。	引き続き目標値を達成できるように、女性に対して参加を積極的に促す。
乳児への家庭訪問率	89.8% ※3	97.9%	98.0%	98.0%	健康推進課	令和5年度の95.7%より上昇した。	母子手帳交付時に赤ちゃん訪問について周知する。引き続き訪問を実施する。
家族経営協定締結農家数	34件 ※3	40件 (男性71名女性62名)	44件	44件	産業振興課	担い手農地における経営改善計画の認定及び更新時に協定締結を促した。	周知に努める。

※1：令和2（2020）年 弥富市 男女共同参画に関する市民（中学生）意識調査

※2：令和2（2020）年4月

※3：令和元（2019）年度

第2次弥富市男女共同参画プランの目標達成への進捗状況報告《令和7年度》

指標	現状値 (プラン策定時)	現状値 (令和6年度実績)	目標値 令和12(2030)年度	目標値 令和12(2030)年度 【プラン中間見直し】	関係課	令和6年度の対応・取組実績	令和7年度 目標値達成への対応・取組予定
ファミリー・サポート・センター会員数	632人 ※3	670人	700人	700	児童課	子育て支援センターにおいて、月に1回、会員登録出張所を設けて、会員確保に努めた。	引き続き、会員数の現状維持に努める。
保育所における待機児童数	0人 ※3	0人	0人	0人	児童課	待機児童数はゼロであった。	引き続き、待機児童数ゼロを継続する。
ファミリーフレンドリー企業登録数	8件 ※3	9件	19件	19件	産業振興課	愛知県の実施するあいちワーク・ライフ・バランス行動計画と連携し、周知を図った。	愛知県の実施するあいちワーク・ライフ・バランス行動計画と連携し、周知を図ることでファミリー・フレンドリー企業登録数の向上を目指す。
DV被害者の相談しなかった理由として、「誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから」と回答した人の割合(市民意識調査)	12.0% ※1		0%	0%	児童課	窓口にチラシ配置や広報等での周知を実施した。	相談窓口の周知を引き続き行う。
「デートDV」言葉の認知度(言葉も意味も知っていた)(中学生意識調査)	16.9% ※1		50.0%	50.0%	学校教育課	昨年度に引き続き、保健体育科の保健領域の授業や発達測定時に養護教諭と連携して「性」についての指導を行った。	保健体育科の保健領域の授業や発達測定時に養護教諭と「性」についての指導を行う。
各種がん検診受診率(推計対象者での受診率) ・胃がん ・肺がん ・大腸がん ・子宮がん ・乳がん	19.7% 22.7% 22.7% 18.9% 18.0% ※3	19.6% 19.17% 19.5% 25.6% 16.0%	22.0% 34.0% 31.0% 26.0% 29.0%	22.0% 34.0% 31.0% 26.0% 29.0%	健康推進課	対象者へがん検診等受診券を送付し、がん検診を実施した。胃・肺がん検診の受診率は減少、大腸がん検診の受診率は横ばい。子宮・乳がん検診の受診率は増加している。	対象者へがん検診・歯周病検診等受診券を送付し、がん検診受診を勧奨する。がん検診・歯周病検診等受診券の様式と送付対象者、検診ガイドを見直した。電子申込を導入するなど、受診しやすくなるよう工夫する。
各種がん検診受診率(各対象年齢の全住民対象での受診率) ・胃がん ・肺がん ・大腸がん ・子宮がん ・乳がん	8.6% 9.9% 9.9% 8.9% 9.5% ※3	9.1% 8.9% 9.0% 12.4% 8.7%	9.6% 14.8% 13.5% 12.2% 15.3%	9.6% 14.8% 13.5% 12.2% 15.3%	健康推進課	対象者へがん検診等受診券を送付し、がん検診を実施した。胃・肺がん検診の受診率は減少、大腸がん検診の受診率は横ばい。子宮・乳がん検診の受診率は増加している。	対象者へがん検診・歯周病検診等受診券を送付し、がん検診受診を勧奨する。がん検診・歯周病検診等受診券の様式と送付対象者、検診ガイドを見直した。電子申込を導入するなど、受診しやすくなるよう工夫する。
やとみ健康マイレージ事業の参加者数	274人 ※3	328人	410人	410人	健康推進課	令和5年度と横ばいであった。令和4年度より導入したアプリでの申請者は37名であった。アプリでの参加者は令和5年度より微増した。	少しずつ健康マイレージは浸透してきているが、自分の健康管理のために参加してもらえるように今後も啓発をする。
ふれあいサロン開催箇所数	26か所 ※3	22か所	30か所	25か所	介護高齢課	サロン代表者の担い手がいなかったため、サロン継続が難しく、1か所廃止となったが、新たに1か所新設されたため、開設箇所数の増減はなかった。	継続実施及び新たなサロンが開設できるように働きかけていく。

※1：令和2（2020）年 弥富市 男女共同参画に関する市民（中学生）意識調査

※2：令和2（2020）年4月

※3：令和元（2019）年度